

# 「新たな地域コミュニティ組織」 について

地域 Ikigai さいき プロジェクト

～地域住民がいきがいを持って、安心して幸せに  
住み続けられる街・浦・里の実現～

鶴見地域の取組状況

No.4 令和5年1月1日発行

新年おめでとうございます。

旧年中は、アンケート調査等ご協力いただきありがとうございました。  
本年は、「つるみ地域の現状(いま)について話す会」での意見、「アンケート調査」の結果等を踏まえ、「鶴見地域新たな地域コミュニティ組織を考える会」において、「新たな組織等」が必要か否かを判断していきます。



鶴御埼灯台から初日の出を望む

これまでの「考える会」は

## 第1回

令和4年8月9日  
\*規約、役員、今後の進め方 等承認

## 第2回

9月13日  
\*“あん時と今、ほいてこの先のこと”と題し、合併前はあったが今はなくなったこと、10年後の心配事等についてグループ討議  
\*アンケート調査内容検討

## アンケート調査の実施

9月末  
\*中学生アンケート (46人)  
10月  
\*住民アンケート (1,131世帯配布)

## 先進地視察研修

11月22日  
宇佐市安心院町  
「津房地区まちづくり協議会」  
(15人参加)

## 第3回

12月6日  
\*視察研修の感想  
\*“そらあ誰がやるんな”と題し、「話す会」等で出された困りごと等について、担い手をどう考えるかのグループ討議

裏面、第2回・先進地視察研修・第3回の内容

## ☆ 第2回 “ あん時と今、ほいてこの先のこと ”



### I なくなったこと (もの)

- ・ イベント ・ 学校 ・ 商店
- ・ 活気 ・ 組織 (青年団・婦人会等)

### II 10年後心配事等は

- ・ 健康でいられるか ・ 集落の減少
- ・ 人口 (若者、子育て世代) の減少
- ・ 車の運転ができなくなった時の買い物
- ・ 地域の担い手 (世話役) の減
- ・ 学校や診療所、A コープがあるのか

### III 10年後どんな暮らしをしていたい

- ・ 家族で元気に ・ のんびり何も考えずに
- ・ 今の仕事を続ける ・ 会社を大きくしたい
- ・ 釣りや畑で自給自足 ・ よく食べ、寝、呑む
- ・ 子どもが幸せならそれでいい

### IV IIIの暮らしをするために足りないもの

- ・ お金、健康 ・ 若さ (気力・体力)
- ・ 人とのつながり (近所づきあい)
- ・ 鶴見で暮らしていける仕事場

## ☆ 先進地視察研修

「津房地区まちづくり協議会」は、高齢化率 54%、過疎化や少子高齢という状況は鶴見と同様でした。

今季で 12 年目の活動を展開しており、現在 5 部会で 34 事業を行っています。高齢者サポートや環境整備活

動、自主財源づくりのための指定管理受託など、佐伯市での振興局機能を協議会で受けている印象でした。



## ☆ 第3回 “ そらあ誰がやるんな ”

「話す会」及び前回までの「考える会」で出された地域課題、それに関連したやりたいこと・やってみたいこと等、61 項目について、担い手としてどういう組織や団体等が適当と思われるかを話し合いました。

【分類：教育・文化】

「学校と地域の距離を感じる」→「子どもと住民の交流イベントの開催」→担い手は、「地域+PTA+こども会」…等



【問い合わせ】

佐伯市役所コミュニティ創生課(住民自治推進係) ☎22-4059

鶴見振興局(地域振興・市民サービス係)

☎33-1111